



IBC 2024視察レポート

ヨーロッパ最大級の放送機器展示会『IBC（International Broadcasting Convention）』（以下、IBC）が9月13日～16日の日程でオランダ・アムステルダムのRAI Amsterdam Convention Centreで開催された。

当社からも、最新の放送・映像エンターテインメントに関する市場動向や情報収集のため、技術系部署を中心に5名が参加し、視察を行った。
今月号では、IBCの視察レポートを紹介する。

IBCとは

冒頭でも記載の通り、IBCは世界規模で開催される放送機器展の1つであり、アメリカで開催されるCESやNAB Showに次ぐ規模となっている。

主に放送機器や技術の展示、放送・映像エンターテインメントに関するカンファレンスが実施された。

今回は世界170カ国より45,085人が参加し、出展社数は1,350社以上となった。
（2023年:170カ国 43,065人、1,200社以上）



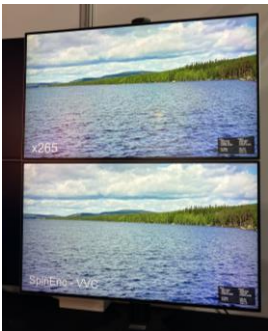
展示の中心的なテーマには、AI、フェイクニュース、持続可能性、5G、クラウド、eスポーツ、没入型体験、OTTとストリーミング、アドテック、メタバース、エッジコンピューティング、人材育成の必要性など、さまざまなテーマが取り扱われた。

- ・公式HP
- ・参加企業一覧はこちら◆

視察内容

【HEVC以降の次世代のエンコード規格 H.266 VVC】

当社のACAS配信でも採用しているエンコード規格である「H.265/HEVC」の後続規格として、MPEGとITU-Tが設置した合同機関JVET（Joint Video Experts Team）が仕様策定した、「**H.266 VVC**」（以下、VVC）の関連ソフトウェアエンコーダーの展示が多くみられた。



VVCは既存のHEVCと比べ、ビットレートが36%減、と高圧縮化を実現。

パリオリンピックではSpinDigital社をはじめとする複数の企業がVVCで8Kの圧縮を行った。また、世界数拠点と一部の地域で8K対応テレビを持っている家庭向けに配信を行うなど普及に向けての運用が進んでおり、次の世界的な標準規格が期待されている。

日本でも次世代地デジ放送の仕様として総務省の情報通信審議会が答申しているため、注目の規格となる。

【多言語字幕の自動生成】

ライブストリーミング分野でのAI利用も進んでおり、SyncWords（アメリカ）では、ニュース番組などリアルタイムで情報を届ける必要のあるコンテンツの音声をリアルタイムで字幕化し、同時にその字幕を多言語化して配信する仕組みが展示された。

本アプリでは約3秒の遅延で字幕の多言語化処理が可能となっており、スポーツや音楽イベントなど日本のライブコンテンツを低コストで海外や日本在住の外国語話者へ届けることが期待できる。

【本人音声による映像の同時多言語展開】

CAMB.AI(インド)では動画の音声データをもとにテキストデータを作成し、他言語に翻訳する。翻訳された言語で動画内の人物の声を再現することで、まるで動画の中の人物が実際に別の言語を話しているかのようにAIが音声データを変換する技術を紹介。

CANB.AIは日本語を含めた140カ国以上の言語に対応している。リアルタイム処理ではないものの、本技術を活用することで、今までケーブルテレビ事業者様で制作、放送したコミュニティチャンネル等のコンテンツを全世界対応のコンテンツとして再利用することが可能となる。

【AI&IoT機器搭載 IP-STB】

SDMC社は、AIチップ搭載型のIP-STBを展示。STB単体で視聴しているコンテンツの字幕生成や翻訳の処理が可能となる。

音声認識についても従来のSTBに比べてより自然なやり取りが可能になっていた。



さらにカメラ、スピーカー一体のSTBでは人の動きを認識して機器操作が可能となることで、STB1台で双方向での利用やゲームなど様々なコンテンツの拡張性が期待される。

また、カメラ付きのSTBは、遠隔医療での利用などケーブルテレビ業界での活用を期待できる。

【低軌道衛星通信サービス（通称：Project Kuiper）】

Amazon社（アメリカ）がスペースX社の低軌道衛星通信サービスに続き、通称Project Kuiperと呼ばれるサービスを2023年11月27日に発表し、実物をIBCブースにて展示した。



Project Kuiper は、Amazonが設計、構築、運営するLEO（低軌道）衛星によるブロードバンド・ネットワークであり、世界中のネットワークが行き届いていない地域に、高速で低遅延のブロードバンド・ネットワークを提供することを目指している。

スペースX社「Starlink」との大きな違いは、「AWSへ直接接続可能なためセキュリティの担保が可能なこと」で、受信機のサイズもより小さくなった印象を受けた。現在は2025年より米国で販売開始予定となっており、日本では2026年末～2027年頃を予定している。

参考： [Kuiperシステムに関する報告書](#)

まとめ/所感

今回のIBCでは初めてAI活用に特化したゾーンが設けられており、生成AIをはじめとするAIサービスの利用が世界各国でも増えてきていることが分かった。

本誌に記載のSyncWordsの事例以外にも自動翻訳や自動キャプションなどのサービスの展示が多く見受けられ、放送業界におけるAI活用の注目度を改めて感じられた。

AI技術は年々進化しており、データ整備や処理能力が向上しているため、今後は地域や国を越えた放送サービスへの利用が期待される。

また、欧米諸国では、日本に比べて放送のIP化が進んでおり、当社としても多様化するサービスに柔軟に対応すべく引き続き情報収集を行いたい。

当社では今後もIBCへの参加を検討しており、視察のコーディネートも行ってまいりますので、ご希望がございましたらお申し付けください。

◆お問合せ：当社配信営業部（eigy@jds.co.jp）

satonoka

11月のおすすめ

satonokaの11月のおすすめ番組はこちら！

1)【生中継】大道芸ワールドカップin静岡



毎年11月初旬に静岡市内を中心に行われる大道芸ワールドカップin静岡。今年の開催は11月1日～4日の4日間。最終日は現場の臨場感を生中継でお届けします！各拠点からのレポートや開催期間中に取材したアーティストの紹介など、内容盛りだくさんです！
放送日時：11月4日(月・休)15:00～20:15

2)【特集】まるごと茨城



11月23日(土・祝)は『【特集】まるごと茨城』を9時間にわたってお送りします！移住を選択する人びとや受け入れる地域の現在を地域の魅力と共に伝える『田舎で暮らそう～移住の先に見えるもの～ 茨城県結城・筑西より』や、『壮観劇場 色彩の丘 コキアとネモフィラ』などを通じ、茨城県の魅力をたっぷりとお伝えします！
放送日時：11月23日(土・祝)15:00～24:00

11月のオススメ動画はこちら↓
<https://youtu.be/ddcu6GnpVY4?si=MVZjowittlMt7RfD>

当社支援サービス

地域の多様性の課題解決に向けた「多言語サービス」

今年4月より提供開始した「多言語サービス」は、ケーブルテレビ事業者様が提供するテレビやインターネットの各種サービスを、エリア在住の外国人が円滑なコミュニケーションを取りながら利用できる支援サービスです。
ケーブルテレビ事業者様が提供する各種サービスの申し込みや利用方法などの問い合わせ時に、または営業、設置工事の説明時に、多言語オペレーターが間に入り、三者間による同時通訳通話で対応いたします。英語・中国語(北京語)・韓国語・ポルトガル語・スペイン語の5言語に対応しており、日本に在住する幅広い国籍のお客様をカバーしています。

◆導入メリット

外国人に対するカスタマー対応の負担軽減、ならびに、多言語対応による外国人顧客の加入獲得の機会に繋がることができます。
またエリア在住の外国人は、言葉の心配なくケーブルテレビ事業者様からサービスを受けられ、より安心して快適な日本での生活を楽しんでいただけますので、外国人の方々を含めた地域活性化にも繋がります。

ケーブルテレビ事業者様がご利用いただきやすい形でサービス提供しております。資料のご請求や不明点があれば、お気軽にお問合せください。

■お問合せ先：
配信営業部 多言語サービス窓口
multilingual-jds@jdserve.co.jp

みるプラス

11月のおすすめ

今月のみるプラスのおすすめはこの3本！

1)「フォールガイ」(11月6日 配信)

「ブレット・トレイン」のデビッド・リーチ監督が、ライアン・ゴズリングとタッグを組んで描いた痛快アクション。危険な陰謀に巻き込まれたスタントマンの命運は！！

2)「ゴジラ-1.0」(11月20日 配信)

舞台は戦後の日本。戦争によって焦土と化し、なにもかもを失い文字通り「無(ゼロ)」になったこの国に、追い打ちをかけるように突如ゴジラが出現し、日本を「負(マイナス)」へと叩き落とす。豪華俳優陣が出演し、日本アカデミー賞最優秀作品賞にも選ばれた衝撃の作品を見逃すな！

3)「デッドプール&ウルヴァリン」(11月26日 配信)

ライアン・レイノルズ演じる型破りで無責任なヒーロー、デッドプールに加え、「X-MEN」で活躍した、ヒュー・ジャックマン扮するウルヴァリンがスクリーンにカムバックし、2大ヒーローの共演が実現した話題作。今月もみるプラスでお楽しみください！



ライブビューイング(LV)事業

11月実施興行

11月は2案件を実施いたします！

①「『雲のむこう、約束の場所』スペシャル・リーディング・オーケストラ・コンサート ライブビューイング」

新海誠監督の長編初監督作を、豪華出演陣による朗読、オーケストラの生演奏、原作映像の融合により特別上演。映画の公開20周年を記念し、大阪公演：夜の部の様子を全国の映画館に生中継でお届けします。

②「MTV Unplugged Presents: TOMOO Theater Viewing」

日本制作通算50作目となるMTVのアカースティックライブに、新進気鋭のシンガーソングライター：TOMOOが登場。9/15(日)実施の大阪城音楽堂公演の模様を、全国の映画館にて上映。舞台裏映像も特別収録。

	雲のむこう、約束の場所	MTV Unplugged : TOMOO
日時	2024年11月20日(水) 19：00開演	2024年11月24日(日) 18：00開演 20：30終演予定
出演者	佐藤龍我、大原櫻子 ほか	TOMOO
LV会場	全国32館の映画館	全国11館の映画館
URL	https://www.oshiview.jp/event/kumonomukoulv_202411/	MTV Unplugged Presents: TOMOO MTV Japan

物販

Brother モバイル感熱プリンター

今回はBrother製モバイル感熱プリンター現行モデルをご案内させていただきます。ご契約時の書類作成にてお困りの際はぜひご検討ください。

**タブレットとBrotherの感熱プリンターさえあれば
提案資料や見積書の作成・発行も外出先でスマートに実現できます！**

ここがスゴイ① さまざまなソフトウェアに対応可能

プリント用アプリケーションのBrother iPrint&Scan、Brotherプリントサービスプラグインをはじめ、AirPrint、Mopria®にも対応。

システム開発しなくても、お手持ちのモバイル端末から手軽に出力可能。

※帳票データについてはお客様にてご用意いただく必要がございます。

ここがスゴイ② 情報端末との繋がりやすさ

Bluetooth5.2やWi-Fi®の5GHz帯(IEEE 802.11a/n/I,WPS2.0)、NFC通信※にも対応。

情報端末や使用環境に適した通信手段でご利用いただけます。

※ NFCを搭載したAndroid端末とのペアリング用途のみ。

納期・台数については別途お問い合わせください

■お問合せ先：当社物販窓口 eigyou@jdserve.co.jp



PJ-883